

上野の森美術館  
「石川九楊大全」展  
開催記念 講演会



# 石川九楊講演会 「書は文学である」

筆蝕論の総仕上げ、「悪筆論」を語る。

。様はそりあつて記さるうし、楚  
。反部は、スルハ多ク、  
。接取らば大胆な展開で欠りしり。の  
。接取らば大胆な展開で欠りしり。の

2024年7月7日(日)

開演・18時(開場・17時30時) / 料金: 一般2000円

会場: 上野精養軒 桜の間(上野公園)

※22歳未満は入場不可

肉体、肉声、肉眼……ならば肉文字もあろう。書は美術ではない。  
「筆蝕」書きぶり」を緻密にたどれば、「書は文学」であることが解る。  
書は文学とともにある。



photo: Toru Takahashi

石川九楊

いしかわきゅうよう

Ishikawa Kyuyoh

書家。京都大学法学部卒。京都精華大学教授、文字文明研究所所長をへて、現在、同大名誉教授。批評家としても活躍し「書は筆蝕の芸術」であることを解明、書の構造と歴史を読み解くとともに「筆蝕論（二重言語国家・日本）（肉文字論）」などに代表される論考は、日本語論、日本文化論など各界に大きな影響を与えている。

「石川九楊大全」展 開催記念講演会



講演会「書は文学である」

日時：2024年7月7日(日) 18:00開演(17:30開場)

会場：上野精養軒 桜の間 JR上野駅・公園口／京成上野駅・正面口／東京メトロ上野駅・7番口いずれも徒歩5分

チケット 一般：2,000円 (全席自由・税込)

[チケット取扱] チケットぴあ(Pコード 653-124)、ローソンチケット(Lコード 31934)、イープラス各販売サイトおよびプレイガイド、コンビニ店頭にてお求めください ※購入時に手数料がかかる場合があります 最新情報は公式ウェブサイトにてご確認ください。お問い合わせ: contact@ishikawakyuyoh-taizen.com

販売サイトへのリンクはこちら

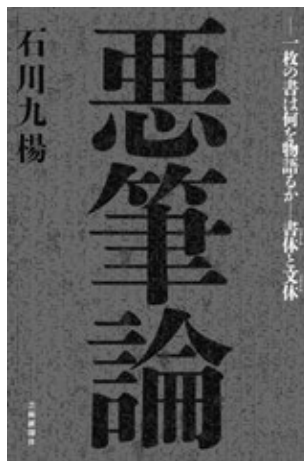


石川九楊新刊情報

悪筆論

一枚の書は何を物語るか―書体と文体

11名の近現代の文士達の筆跡の、尋常ならざる謎のような筆蝕書きぶりの諸相が、その文学を雄弁に物語る。



好評発売中  
発行=芸術新聞社  
価格=3,000円(税別)

「掲載作家」川端康成・三好達治、久保田万太郎、三島由紀夫、中上健次、太宰治、岡本かの子、松本清張、谷川雁、谷崎潤一郎、中里介山

カタログレゾネ

石川九楊全作品集(全三冊附別冊)

若き日の実験的作品群から、日本・中国・西欧古典、そして時代を告発する現代の自作詩文作品にいたる、厳選した約二〇〇〇点の作品を余すところなく紹介する全作品集。



2024年夏刊行予定  
限定500部/価格=200,000円(税別)  
ご注文・お問い合わせ

思文閣出版  
TEL:075-533-6860 FAX:075-531-0009

構成(3巻)全二〇〇〇点

- ① 書の美の解体 一九六〇年〜一九八〇年代
- ② 筆蝕の発見と展開 一九九〇年〜二〇〇〇年代
- ③ 書は文学である 二〇一〇年〜

「石川九楊大全」展  
会場：上野の森美術館

【古典篇】遠くまで行くんだ

会期：2024年6月8日(土)～6月30日(日)

【状況篇】言葉は雨のように降りそそいだ

会期：2024年7月3日(水)～7月28日(日)

当日券一般・大・高生：2,000円/前売券：1,800円/前売2枚セット券：3,000円(数量限定) いずれも税込



記念音楽会「歎異抄No.18 しいはんや悪人をや」2024年6月14日(金) 会場：旧東京音楽学校奏楽堂(上野公園)

<https://ishikawakyuyoh-taizen.com/>